

介護支援専門員実務研修

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

第7-③章

居宅サービス計画等の作成

1

本科目の目的

P477

ニーズを踏まえた目標の設定と目標を実現するための居宅サービス計画等の作成技術を修得する。また、居宅サービス計画等と訪問介護計画等の個別のサービス計画との連動の重要性を理解する。

2

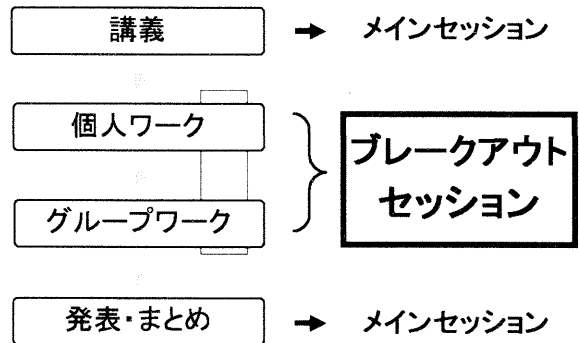
本科目の修得目標

P479

- ①居宅サービス計画の意義と目的について説明できる。
- ②居宅サービス計画等の様式における記載の目的について説明できる。
- ③利用者、家族の意向を踏まえた課題の解決に向けた目標の設定を実施できる。
- ④居宅サービス計画実施後の生活の変化を予測できる。
- ⑤居宅サービス計画等に必要な社会資源(インフォーマルサービス等)を位置づけることができる。
- ⑥生活目標に応じた必要なサービスを判断できる。
- ⑦生活目標を達成するための期間の設定を判断できる。
- ⑧利用者、家族が合意できる居宅サービス計画書の作成を実施できる。
- ⑨居宅サービス計画等と個別サービス計画の連動の重要性について説明できる。

3

講義・演習の展開について



4

グループワークの留意点

1. 時間を守る
2. 自ら発言する際は画面上で挙手
3. 簡潔で具体的な発言に努める
4. 発言を独占したり割り込まない
5. 批判的な発言はしない
6. 無断で離席しない

5

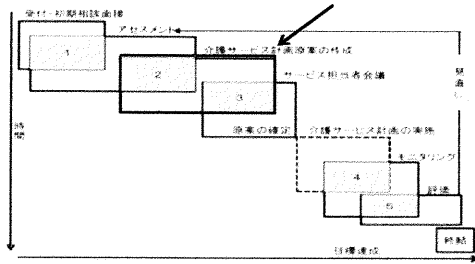
ブレイクアウトセッション

【グループディスカッション】

1. 役割の確認(司会、発表)
2. 記録の準備

6

第1節 居宅サービス計画 原案の作成



テキストP318 図6-1-1 ケアマネジメントプロセス参照

第1節 居宅サービス計画 原案の作成

1 居宅サービス計画原案作成の意義と目的

- (1) 居宅サービス計画原案作成の意義
- (2) 居宅サービス計画における様式
- (3) 居宅サービス計画原案作成の目的
- (4) 重層的な進行

8

第2節 居宅サービス計画原案 作成上の留意点

1 利用者・家族の意向を踏まえた課題の解決

- (1) 利用者・家族の現状をとらえる
- (2) 利用者の気持ちを受け止め、意欲を引き出す
- (3) ニーズの整理
- (4) 利用者の主体性を支える
- (5) ニーズを明らかにする

9

第2節 居宅サービス計画原案 作成上の留意点

2 生活の変化の予測

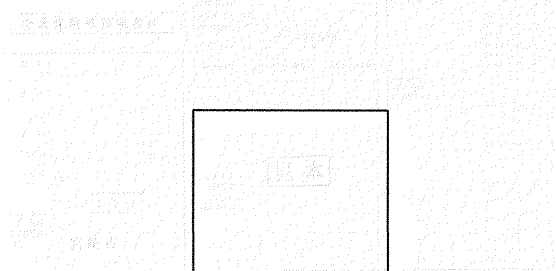
- (1) チェックポイントシートによる整理
- (2) ICFシートによる整理
- (3) 課題整理総括表による整理

10

【演習】居宅サービス計画書 (第1表)の作成

11

【参考】介護保険被保険者証



12

振り返り

・保健医療サービス利用時の主治医等からの意見収集、リハビリテーション専門職からの意見収集など、多職種との連携に当たっての留意点を理解できる。

・訪問介護計画等の個別サービスの計画は、居宅サービス計画に記載したニーズや目標に基づいて作成され、利用者を支援するサービス提供につながっていくものであることから、居宅サービス計画との連動の重要性を理解するとともに、個別サービスの計画につながる目標の立て方を理解できる。